

2021年12月 Vol.55

しみん基金・KOBE NEWS



V55
O.L.
2021年12月号



認定NPO法人しみん基金・KOBE

発行日2021年12月

〒651-0095 神戸市中央区旭通1-1-1-203 (サンピア2F)

[TEL] 078-230-9774 [FAX] 078-230-9786 [MAIL] kikin@stylebuilt.co.jp [HP] stylebuilt.co.jp/kikin

誰もが社会貢献に取り組み、交流できる
協働と参画のプラットフォームを目指して

デザイン・クリエイティブセンター神戸
(K-I-T-O) 企画事業部門スタッフ
藤墳智史

「デザイン都市・神戸」の創造と交流の拠点施設、デザイン・クリエイティブセンター神戸(K-I-T-O)に、創造的活動・社会貢献活動の交流拠点K-I-T-O:300(キイトサンマルマル)を開設しました。

社会貢献・地域活動の支援を目的とするK-I-T-O:300ファームでは、しみん基金・KOBEさま、ダイバーシティ研究所さまのご協力を得て地域活動の相応対応などを実施しています。

オープンを記念して10月31日(日)に実施された「地域課題解決+クリエイティブミーティング」では、デザイナーの和田武大さんによる広報物のデザインや編集・情報発信のレクチャーと合わせ、参加者が活動の悩みを共有し、解決や新たな活動の展開を探るワークショップを実施。しみん基金・KOBEからは戸田さまにご参加いただき、後半のワークショップをナビゲートいただきました。

K-I-T-O:300ファームが、地域活動や社会貢献活動の交流を促進し、新たな協働と参画のためのプラットフォームとなるよう、場を育てていきたいと考えています。

しみん基金・KOBEをご支援いただいている皆様へ感謝を込めて

2021年度助成事業公開審査会

昨年度は非公開で実施した審査ですが、今年度は、できるだけ公開するべきであるということと、プレゼンテーション経験の少ない団体には他の団体の発表を見て学んでもらいたいという思いから、オンラインによる公開審査会を10月26日（火）13時～17時で実施しました。

オンライン開催での一番の懸念事項は審査員のみなさんによる公開投票です。投票方法をどうするか検討した結果、オンラインホワイトボードのMIROを使うことにしました。インターンの大学生がオンライン授業で使っていると教えてくれたのです。このオンラインホワイトボード上に、各団体名と審査員の持ち票である色のついた○印を置いておき、審査員が各々MIROにログインし、○印を選んだ団体名が書かれた枠内に動かし、その画面をオンライン上で共有し、参加者全てが



オンライン審査風景



投票もリアルタイムで閲覧できるように

リアルタイムでその様子を見ることができるようになりました。当日開始前の事前会議で審査員のみなさんにMIROを試していただいた際は、初めての試みに四苦八苦で実施が危ぶまれましたが、本番には上手く操作いただき滞りなく公開投票を実施することができました。

事業概要としては例年通り7月19日から8月末まで申請を受け付けました。応募総数は20団体と、やはりコロナ禍で思うように活動できない状況を反映してか少なく、9月の理事会を経て14団体にプレゼンテーションを行っていただき、下記の7団体に助成が決定しました（一般枠5団体2百万円、特定枠2団体50万円）。最後に審査員長からはオンラインでの初めての試みで、やはり集まって交流する大切さを改めて感じられたとコメントされました。

award winners 助成決定団体

[一般枠]

01	全国ギャンブル依存症家族の会兵庫	ギャンブル依存症問題に取り組む支援者学習会
02	(特活)ガジュマルの船	摂食障害・依存症の当事者から～それぞれの回復へ～
03	定住外国人子ども奨学金実行委員会	兵庫県下在住の経済的困難を抱える外国ルーツの高校生の支援事業
04	(一社)デフサポートかもめ	「聾・啞史に触れる」プロジェクトとウェビナーの導入
05	一般社団法人Bokk Jambaar	Africare(アフリケア)事業

[特定枠]

T1	神戸大学持続的災害支援プロジェクトKonti	台風19号の被災地宮城県伊具郡丸森町における支援活動
T2	被災地に学ぶ会	コロナ禍における被災地と大学生ボランティアのネットワーク形成

今年度の第5回「黒田裕子賞」は、「阪神高齡者・障がい者支援ネットワーク」から寄贈された資料の研究プロジェクトを立ち上げ、2019年12月から2020年3月まで、企画展「被災地のナイチンゲール―黒田裕子が残したもの―」を開催され、また、2021年3月に「黒田裕子氏の資料等分析による被災者支援の検証と継承」としてレポートを作成された「阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター」に決定いたしました。なお研究プロジェクトの成果の一部は人と未来防災センター東館の展示コーナーの一部に展示されています（右写真）。贈呈式は、公開審査会時に実施しましたがオンラインのため表彰状は後日お届けをしました。贈呈に際して人と防災未来センター研究部主任研究員の高原耕平さんは「この資料を整理・分析することでネットワークについて学び、考える機会をいただいた。」と所感を述べられました。

黒田優子賞



子育て世帯への食を通じたつながり事業

神戸市子ども家庭局子ども未来課の助成で、8月からコロナの影響を受け困っている子育て世帯を対象に企業から寄贈された保存のきく食料などを配布する事業を実施しています。各区に1か所（北区は2か所）配布場所があり、神戸新聞が企業から集めた食料品等を各配布場所に週1回搬入し、当基金は毎週日曜15時半～19時で配布しています。配布にあたって所得証明などは何も求めていません。当基金が団体ではなく、直接子育て世帯を対象に事業を実施するのは初めてかと思われませんが、中間支援として配布作業は神戸フリースクールに依頼するなど

ネットワークを活かしながら実施しています。現在申込者は百名ほどおられますが、毎週来られるのは40名ほどです。コロナ禍で仕事を失ってしまった方もおられ、大変助かると言われていました。一方、神戸市からは配布作業を通じて、子育て世帯への情報提供や何らかの支援が必要な方を支援機関につなぐことが期待されています。重度障がい児の保護者から進路の悩みをお聞きした際は障がい者支援団体につながりました。ただ、来訪者が多くお一人お一人とじっくりお話をするのは難しく今後の課題となっています。



中央区ボランティアルームで、食料を渡す



渡している食料品の一部

26年目のひとり言

（財源枯渇）

コロナ感染者が全国合計で1000人以下になっても、未だコロナ感染への恐怖は続いている。最近では、「オミクロン株」というアフリカ発の新種変異株が発見され、日本国内でも既に感染者が出ていたようだ。緊急事態宣言が解除され、年末年始に向けて飲食業、接客業等、これからという時に、また水を差される事態になりつつある。政府は昨年初のコロナ感染の水際対策の不味さを意識してか、早々に海外からの渡航者の全面入国禁止に踏み切った。これにより、当面の間インバウンドの回復は見込めなくなり、航空業界、宿泊施設等も厳しい年越しとなりそうだ。

何故、つらつらと日本経済の話をしたかと言うと、当基金の財源に直結する話なのだ。当基金の財源は寄付（直接寄付及びチャリティーイベント）と委託事業による収入で賄われている。コロナ禍でチャリティーイベント等が開催出来ず、経済が回らなければ企業や個人からの寄付も減少する。今まさに、そういった状況下に当基金は置かれており、財源確保に苦労している。日本では、阪神・淡路大震災から26年経った今でも、寄付文化は根付かず、寄付税制も大きく変わってはいない。泣き言ばかり言っても始まらないが、努力するにも限界はある。本年度は、何とか助成事業を行うことが出来たが、来年度の事を考えると頭が痛い。当基金も厳しい年越しになりそうだ。

しみん基金・こうべ 専務理事

瀬戸口 仁三郎

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3千円
 団体会員 年間 1万円

お申し込みは電話・ファクス・メールなどで、ご連絡いただくか、HPをご参照ください。

振込口座

三井住友銀行三宮支店 普通 8840183
 近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854
 みなと銀行本店営業部 普通 1969895

口座名義
 「特定非営利活動法人しみん基金・こうべ」

郵便振替 00990・5・157334
 口座名義
 「しみん基金・こうべ」

当基金は認定NPO法人格のため、当基金への寄付並びに、賛助会費は・・・個人では、寄付控除を受けられません。

税の優遇措置を受けるには、確定申告をしていただいて、その際当基金が発行する寄附金受領証明書（＝領収書）を添付して税務署にご申告をお願いします。

小口寄付にも効果のある「税額控除」
 高所得者がお得な「所得控除」
 どちらかお選びいただいでご申告いただけます。

法人では損金算入限度額が増え、一般のNPO法人への寄付と比較して経費にできる寄付額の限度額が大きくなります。

相続人は、相続財産のうち寄付した額が非課税になります。

会員数とご寄付のご報告（2021年11月末）

正会員 個人28名 2団体
 賛助会員 個人43名 13団体
 寄付・募金合計金額 45万8千339円

寄付者・募金一覧（敬称略・順不同）

飛田雄一、中島秀男、島田誠、高橋俊行、
 渥美公秀、山口一史、瀬戸口延恵、龍和男、
 ㈱フルハウス技研、㈱神戸国際マーケティング、
 ヤフー㈱、ヤフービジネスサービス、
 ㈱ノースフィールド

（2021年7月～11月）
 ※皆様方からの貴重なご厚志に深謝申し上げます。

※ご寄付、会費納入は、クレジット決済もご利用頂けますのでご利用ください。

当基金ホームページの「クレジット決済」からアクセスできます！

編集後記

8月は子育て世帯への食料配布、9月は緊急事態宣言で延期になっていたKIITTO...300のオープンニング、10月は初めてのオンラインによる公開審査会とコロナの影響を受けた初めてのことが続く日々でした。来年はどうか穏やかな年になってほしいと思います。みなさまよいお年をお迎えください。